西大和学園補習校
アーバイン校

二年生　国語①

□おんどく
□ぶんしょうもんだい５ページ
□えにっき（４まい）
□ししゃ（スイミーうつし）

保護者の方へ

☆絵日記にお家の人から一言を書いてあげてください。

くみ

名前

２年音読カード

なまえ

よい◎　ふつう○　もうすこし△

月　日	読んだところ	、や。に気をつけて	大きなこえで	ゆっくり読む	おうちの人のサイン
／	しゅくだい：してい音読①				
／	しゅくだい：してい音読②				
／	しゅくだい：してい音読③				
／	しゅくだい：してい音読④				
／	しゅくだい：してい音読⑤				
／	しゅくだい：してい音読⑥				
ここまでが、しゅくだいです。ここから下は　自由音読（じゆう　おんどく）					
／					
／					
／					
／					

先生のサイン

指定音読①「かぞえうた」

ひとだまひとつ　ふたしてふたつ
みつめてみっつ　よつゆによっつ
いつまでいっつ　むっつりむっつ
ななしのななつ　やつれてやっつ
ここにここのつ　とおくにとお
なむじゅういちめんかんぜおん
じゅうにしょごんげん

指定音読②「たらこ　かずのこ　さかなのこ」

たらこ　かずのこ　さかなのこ
だんごの　きなこは　だいずのこ
たけのこ　たけのこ　なめこは　きのこ
たまご　かまぼこ　れいぞうこ
しょくごは　いちごか　おしるこか
いたずらっこは　はらっぺこ

指定音読③「かっぱ」

かっぱかっぱらった
かっぱらっぱかっぱらった
とってちってた
かっぱなっぱかった
かっぱなっぱおいっぱいかった
かってきってくった

指定音読④「早口言葉」

隣の客はよく柿食う客だ

指定音読⑤「早口言葉」

坊主が屏風に上手に坊主の絵をかいた

指定音読⑥　「生きる」

いきているということ
いまいきているということ
それはのどがかわくということ
木もれびがまぶしいということ
ふっとあるメロディを思いだすということ
くしゃみをすること
あなたと手をつなぐこと
いきているということ
それはミニスカート
それはプラネタリウム
それはヨハン・シュトラウス
それはピカソ
それはアルプス
すべてのうつしいものにで会うということ
そして
かくされたあくをちゅういぶかくこばむこと
いきているということ
いまいきているということ
なけるということ
わらえるということ
おこれるということ
じゅうということ
いきているということ
いまいきているということ
いまとおくで犬がほえているということ
いまちきゅうがまわっているということ
いまどこかでうぶごえがあがるということ
いまどこかでへいしがきずつくということ
いまぶらんこがゆれているということ
いまいまがすぎてゆくこと
いきているということ
いまいきているということ
とりははばたくということ
海はとどろくということ
かたつむりははうということ
人はあいするということ
あなたの手のぬくみ
いのちということ

西大和学園補習校
二年生　絵日記

題名

名前

月　日　曜日

上手に絵日記を書こう。
つかってみることば
□はじめの一ますをあける。
□まず、
□つぎに、
□「　　。」をつかお

チェックしましょう。
□おかしなことばをなおしましたか。

つかったかん字は、なんこ？同じかん字もかぞえていいです。

こ

すばらしい！

ここまで書きましょう！

西大和学園補習校
二年生　絵日記

題名

名前

月　日　曜日

上手に絵日記を書こう。
つかってみることば
□はじめの一ますをあける。
□まず、
□つぎに、
□「　　。」をつかお

テェックしましょう。
□おかしなことばをなおしましたか。

つかったかん字は、なんこ？同じかん字もかぞえていいです。

こ

すばらしい！

ここまでできましょう！

西大和学園補習校
二年生　絵日記

題名

上手に絵日記を書こう。
つかってみることば
□はじめの一ますをあける。
□ます、
□つぎに、
□「　　。」をつかお

名前

月　日　曜日

テェックしましょう。
□おかしなことばをなおしましたか。

つかったかん字は、なんこ？同じかん字もかぞえていいです。

こ

すばらしい！

ここまで書きましょう！

西大和学園補習校
二年生　絵日記

題名

上手に絵日記を書こう。
つかってみることば
□まず、　□はじめの一ますをあける。
□つぎに、　□「　　。」をつかお

名前

月　日　曜日

チェックしましょう。

□おかしなことばをなおしましたか。

つかったかん字は、なんこ？同じかん字もかぞえていいです。

「　」

すばらしい！

ここまで書きましょう！

テェックし ましょう。
□おかしなことばをなおしましたか。

つかったかん字は、なんこ？ 同じかん字もかぞえていいです。

こ

すばらしい！

ここまで書きましょう！

西大和学園補習校
二年生　絵日記

題名

名前

月　日　曜日

上手に絵日記を書こう。
つかってみることば
□まず、　□はじめの一ますをあける。
□つぎに、　□「　　。」をつかお

西大和学園補習校
二年生　絵日記

題名

名前

月　日　曜日

上手に絵日記を書こう。
つかってみることば
□はじめの一ますをあける。
□まず、
□つぎに、
□「　　。」をつかお

チェックしましょう。

□おかしなことばをなおしましたか。

つかったかん字は、なんこ？同じかん字もかぞえていいです。

こ

すばらしい！

ここまでかきましょう！

西大和学園補習校
二年生　絵日記

題名

名前

上手に絵日記を書こう。
つかってみることば
□はじめの一ますをあける。
□まず、
□つぎに、
□「　　。」をつかお

月　日　曜日

チェックしましょう。
□おかしなことばをなおしましたか。

つかったかん字は、なんこ？同じかん字もかぞえていいです。

こ

すばらしい！

ここまで書きましょう！

西大和学園補習校
二年生　絵日記

題名

上手に絵日記を書こう。
つかってみることば
□まず、　□はじめの一ますをあける。
□つぎに、　□「　　。」をつかお

名前

月　日　曜日

チェックしましょう。

□おかしなことばをなおしましたか。

つかったかん字は、なんこ？同じかん字もかぞえていいです。

□

すばらしい！

ここまで書きましょう！

1 雪国のくらし

1 役割を意識しよう

月日 8〜19　名前　なまえ　はんで

読む時間　/100

読んで、ノートに答えよう。

雪が　あけました。
あたりの　ひかりを　あびて、
竹やぶの　竹の　はっぱが、
①「やおかったね。」
「うん　やおかったね。」
と　ささやいています。
雪が　まだ　すこし　のこって、
あたりは　しんと　しています。

とつぜん、②小さな　こえが　しました。
「よこしょ、よこしょ。
　おもたいな。」
竹やぶの　そばの
うちのようです。
雪の　下に
あたまを　出して、
雪を　とけさせて、
ふんばって　いる
ようです。
③「よこしょ、よこしょ。
　そとが　見たいな。」

「ごめんね。」
と、雪が　言いました。
「わたしも、早く
　とけて　水に　なり、とおくへ
　いって　あそびたいけど。」
と、上を　見上げます。
「竹やぶの　かげに　なって、
　お日さまが　あたらないと。」
と　ないしょばなしです。

（ページ三ページ中に「ひかり」と書いてあります。）（光村図書「ひかり」）

1 ①「やおかった。」「うん、やおかったね。」を読んでいる時と、違う話し方で読むときは、どちらですか。ノートに○を　つけましょう。〔10〕

（　　）小さな　こえで　読む。
（　　）大きな　こえで　読む。

2 ②「小さな　こえ」は、だれの　こえですか。〔10〕

□□□□□の　こえ。

3 ふゆのくらしは、雪国を　どんなようすで　すごしていますか。〔20〕

（　　）を（　　）として　ふんばって　いる。

4 ③「よこしょ、よこしょ。」から、ふゆのくらしは、どんな　ようすが　わかりますか。ノートに○を　つけましょう。〔10〕

（　　）がんばって　いる　ようす。
（　　）つかれきって　いる　ようす。
（　　）やすんで　いる　ようす。

5 ふゆのくらしは、なにが　つらいのですか。〔20〕

（　　）が（　　）。

6 雪は、どうしたのですか。〔20〕

早く　とけて（　　）に　なり、
（　　）とおくへ　いって。

7 雪の　かげに　いるのは　なぜだと　考えましょう。〔10〕

「□□□□。」

こくご

2 じゅんじょに 気を つけて 読もう

たんぽぽの ちえ

24〜32

名まえ

くみ ばん

読むこと /100

光村教育図書 4

読んで、こたえましょう。

春に なると、たんぽぽの 黄色い きれいな 花が さきます。

二、三日 たつと、その 花は しぼんで、だんだん くろっぽい 色に かわって いきます。そうして、たんぽぽの 花の じくは、ぐったりと じめんに たおれて しまいます。

けれども、たんぽぽは、かれて しまったのでは ありません。花と じくを しずかに 休ませて、たねに、たくさんの えいようを おくって いるのです。こうして、たんぽぽは、たねを どんどん 太らせるのです。

やがて、花は すっかり かれて、その あとに、白い わた毛が できて きます。

この わた毛の 一つ一つは、ひろがると、ちょうど らっかさんの ように なります。たんぽぽは、この わた毛に ついて いる たねを、ふわふわと とばすのです。

「たんぽぽの ちえ」うえむら としお（光村図書『こくご』二年上24〜27ページ）

1 たんぽぽは、いつ、なに色の 花が さきますか。 各10〔20〕

・いつ…（　　）　・色…（　　）

2 花が さいて 二、三日 たつと、たんぽぽは どのように なりますか。 各10〔30〕

・花（　　）、だんだん（　　）色に かわる。

・じく（　　）。

3 花の じくが **2** のように なるのは、なにを する ためですか。 各10〔30〕

花と じくを（　　）て、たねに（　　）を おくり、たねを（　　）ため。

4 花が かれた あとに、なにが できますか。〔10〕

（　　）

5 たんぽぽが かわって いく じゅんに、（　）に ばんごうを 書きましょう。 完答〔10〕

（　）花が しぼんで、じくが たおれる。

（　）白い わた毛が できる。

（1）花が さく。

（　）たねを とばす。

（　）たねを 太らせる。

2年 ㊀ 聞きとり・聞くトレ

聞く

・話を聞いて、内容を正しく理解する。（図）
・大事なことを聞きのがさないようにする。（図〜図）

物がたり 西とりかえっこ

えらんだ 物を 西とりかえっこ したいと 思った ことを

教科書 44〜47 ページ

名前 みん はん

/100

聞くトレ

1 絵の 中から 西とりかえっこ した ものを ○で おりものがたり。 図

聞きとり

2 ➡が 西を 絵の 中で ( ) で おりものがたり。 図

そう 西の 中で ( ) を

かぶって ( ) を

やきいも ( ) を

。ものを こたえる

3 音楽会の 中で ( ) で おりものがたり。 図

。ものを 聞き 終 て、 西を 聞いて おりものがたり。 図

。ものを えらんで、 あなたの 音楽会の もちものを

れんらくします。

◆メモを とりながら 聞きましょう◆

4 物語を読んで、感想を書こう

スイミー

教科書 50〜62

名前　　

読む時間　　/100

読んで、ひたえましょう。

その　とき、岩かげに　スイミーは
見つけた。スイミーのと　そっくりの、
小さな　魚の　きょうだいたちを。
スイミーは　言った。
①「出て　おいで。みんなで　あそぼう。
おもしろい　ものが　いっぱいだよ。」
小さな　赤い　魚たちは、こたえた。
②「だめだよ。大きな　魚に　たべられて
しまうよ。」
「だけど、いつまでも　そこに　じっと
している　わけには　いかないよ。
③なんとか　かんがえなくちゃ。」
スイミーは　かんがえた。いろいろ
かんがえた。うんと　かんがえた。
それから、とつぜん　スイミーは
さけんだ。
「そうだ。みんな　いっしょに
およぐんだ。海で　いちばん
大きな　魚の　ふりを　して。」
スイミーは　教えた。けっして、
はなれはなれに　ならない　こと。
④みんな、もちばを　まもる　こと。
みんなが、一ぴきの　大きな
魚みたいに　およげるように　なった
とき、スイミーは　言った。
「ぼくが　目に　なろう。」
あさの　つめたい
水の　中を、ひるの
かがやく　光の　中を、
みんなは　およぎ、大きな
魚を　おい出した。

（レオ・レオニ作／谷川俊太郎訳）

1

スイミーは、海の中で　何を　見つけましたか。　各10

スイミーのと　そっくりの、小さな

（　　）の（　　）。

2

①「出て　おいで。……」②「だめだよ。……」

と　言った　人物は、それぞれ　だれが　言いましたか。□から　えらんで　記号を　書きましょう。　各10

①（　　）　②（　　）

ア　小さな　赤い　魚たち	
イ　大きな　魚　　ウ　スイミー	

3

③「スイミーは　かんがえた。」とありますが、どんな　ことを　かんがえましたか。　各20

海で（　　）の　ふりを

して、（　　）に　およぐこと。

4

スイミーが　小さな　赤い　魚たちに　教えた　ことを　二つ　書きましょう。　各20

（　　）

（　　）

5

④「みんなが、一ぴきの　大きな　魚みたいに　おもげるように　なった　とき」、スイミーは　なんと　言いましたか。　10

（　　）

6

みんなが　いっしょに　おもって　なにを　しましたか。　10

（　　）

こくご

4 お話を 読んで、かんそうを 書こう

スイミー

かん字の ひろば②／こんな もの、見つけたよ ほか

50～93

なまえ

くみ　ばん

言語

漢字 /50

言葉 /50

/100

光村教育図書 10

漢字

1 新しい かん字・読み ……各5〔20〕

——線の 読みかたを 書きましょう。

① おかしを 買う。（　　）

② おまつりの 会場。（　　）

③ 考えを 出し合う。（　　）

④ 時間を 教える。（　　）

2 新しい かん字・書き ……各5〔20〕

かん字を 書きましょう。

① げんき。

② なつ休み。

③ さかな つり。

④ なまえ。

3 新しい かん字・書き ……各5〔10〕

かん字と ひらがなで 書きましょう。

① こたえが わかる（　　）。

② ゆっくり あるく（　　）。

言葉

4 ことばの きまり ……完答〔20〕

つぎの 文に、丸(。)と、かぎ(「　」)を 書きましょう。

	なわとびをしよう	あゆみさんが、
と言いました		

5 ことばの つかいかた ……各10〔30〕

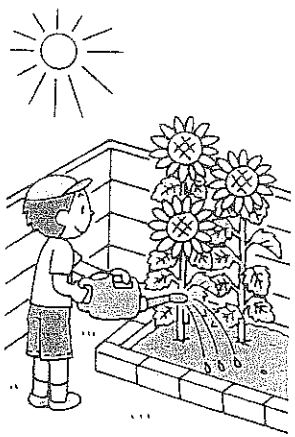
つぎの ——線の ことばを、なにに たとえて いますか。たとえて いる ものを □で かこみましょう。

〈れい〉 海には、ゼリーのような くらげが たくさん いました。

① 空には わたがしのような くもが たくさん うかんで いました。

② どうぶつえんで、岩みたいな かめが あるいて いるのを 見ました。

③ いえの にわに、たいようみたいな ひまわりが さきました。



おてほんです。これを見ながら、げんこうよう紙に、ていねいにうつしましょう。

それから、とつぜん、スイミーはさけんだ。

「そうだ。みんないっしょにおよぐんだ。海でいちばん大きな魚のふりをして。」

スイミーは教えた。けっして、はなればなれにならないこと。みんな、もちばをまもること。

みんなが、一ぴきの大きな魚みたいにおよげるようになったとき、スイミーは言った。

「ぼくが、目になろう。」

かぎかっこや、まる、てんにちゅういして、ていねいに書きましょう。

それから、とつぜん、スイミーはさけんだ。

「みんな海でいちばんふりをしてけっして

みんなをみんながなになったとき、

ぼくが。

あさのつめたい水の中を
ひるのかがやく光の中を、
みんなはおよぎ、大きな魚
をおいだした。

ফরাসি ভাষা

১৯৩৫ সালে প্রকাশিত।

ふきのとう

1 おはなしを 聞こう

日 8～19 名前 くみ はん

標準・実施時間 20分

到達目標点 80/100

読んで 楽しもう。

よが あけました。
あさの ひかりを あびて、
竹やぶの 竹の はっぱが、
①「やわらかったね。」
「うん、やわらかったね。」
と ささやいて います。
雪が まだ すこし のこって、
あたりは しんと して います。

どこかで、②小さな こえが しました。
「よこしょ、よこしょ。
おもたいな。」
竹やぶの そばの
ふきのとうです。
雪の 下に
あたまを 出して、
雪を どけようと、
ふんばって いる
ところです。
③「よこしょ、よこしょ。
そとが 見たいな。」

「ごめんね。」
と、雪が 言いました。
「わたしも、早く
とけて 水に なり、とおくへ
いって あそびたいけど。」
と、上を 見上げます。
「竹やぶの かげに なって、
お日さまが あたらないと。」
と ぎんれんそうです。

（ニューエイジ 平成17年度版 光村図書『ひかり』を ふきのとう」

基礎の確認 物語の主題のとらえかたを理解しているか。

1 ①「やわらかったね。」「うん、やわらかったね。」を 読むときは どう 読むと 出て こえを 読むと ちょうどいいですか。 1つに ○を つけましょう。 [10]

出題の意図 すぐあとの「ささやいて います。」に ちゅうもくしましょう。

(○) 小さな こえで 読む。
( ) 大きな こえで 読む。

基礎の確認 場面の様子を読み取っているか。

2 ②「小さな こえ」は、だれの こえですか。 [10]

出題の意図 「ふきのとう」と言っているのは だれでしょう。

ふ	き	の	と	う

の こえ。

基礎の確認 ふきのとうの行動を読み取っているか。

3 ふきのとうは、なにを どうしようと ふんばって いるのですか。 各[20]

(雪) を (どけよう) と して ふんばって いる。

出題の意図 ふきのとうのあたまの下には なにがあるかをよくよむこと。

基礎の確認 ふきのとうの様子を読み取っているか。

4 ③「よこしょ、よこしょ。」から、ふきのとうの どんな ようすが わかりますか。 1つに ○を つけましょう。 [10]

出題の意図 「ふんばって いる」から かんがえましょう。

(○) がんばって いる ようす。
( ) つかれきって いる ようす。
( ) やわらかって いる ようす。

基礎の確認 ふきのとうがしたいことを読み取っているか。

5 ふきのとうは、なにが したいのですか。 各[20]

出題の意図 雪の下から出られたとき、どこは見えたいと思ったでしょうか。

(そと) が (見たい)。

基礎の確認 雪がしたいことを読み取っているか。

6 雪は、どう したいのですか。 各[20]

出題の意図 雪は、竹やぶのかげに なって、どうしたいと思っているでしょうか。

早く とけて (水) に なり、
とおくへ いって (あそびたい)。

基礎の確認 雪の様子を読み取っているか。

7 雪の やさしい こころが わかる ことばを かきぬきましょう。 [10]

「 ごめんね 。」

出題の意図 ふきのとうが「ごめんね。」と言っているからです。

たんぽぽのわた

2 じゅんじょに 気を つけて 読もう

24～32 名まえ

くみ　ばん

構想 実施時間 20分

読むこと 到達目標点 80/100

読んで、ようすをつかもう。

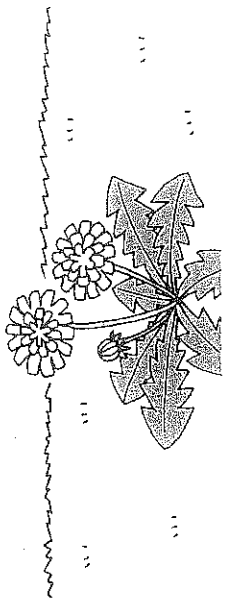
春になると、たんぽぽの黄色いきれいな花がさきます。

二、三日たつと、その花はしぼんで、だんだんくろっぽい色にかわっていきます。そして、たんぽぽの花のじくは、ぐったりとじめんにたおれてしまいます。

けれども、たんぽぽはかれてしまったのではありません。花とじくをしずかに休ませて、たねに、たくさんのえいようをおくっているのです。こうして、たんぽぽは、たねをどんどん大らせるのです。

やがて、花はすっかりかれて、そのあとに、白いわた毛がでてきます。

このわた毛の一つ一つは、ひろがると、ちょうど、らっかさんのようになります。たんぽぽは、このわた毛についているたねを、ふわふわととばすのです。



「たんぽぽのちえ」（光村図書『ひかり』二年上24～27ページ）

新しい学習 たんぽぽの花の様子を読み取っている。

1 たんぽぽは、いつ、なに色の花がさきますか。 各10〔20〕

・いつ…（春）　・色…（黄色）

実生の一言 「春になると」や「黄色いきれいな花」と書いてありますね。

新しい学習 たんぽぽの変化の様子を読み取っている。

2 花がさいて 二、三日 たつと、たんぽぽは どのようになりますか。 各10〔30〕

・花（しぼんで）、だんだん（くろっぽい）色に かわる。

・じく（ぐったりとじめんにたおれる）。

実生の一言 「二、三日 たつと」のあとに書かれていることをよく読みましょう。

新しい学習 たんぽぽが変化する理由を読み取っている。

3 花の じくが 2のようになるのは、なにを するためですか。 各10〔30〕

花と じくを（しずかに休ませ）て、

たねに（たくさんのえいようを）おくり、

たねを（どんどん大らせる）ため。

実生の一言 あたらしいたねを、そだてているんですね。

新しい学習 たんぽぽの変化の様子を読み取っている。

4 花がかれたあとに、なにがでてきますか。 10

（白い わた毛）

実生の一言 「花は すっかり かれて」のあとをよく読みましょう。

新しい学習 たんぽぽの変化の様子を読み取っている。

5 たんぽぽがかわっていくようすを、（　）に はんだいを 書きましょう。 実習10

（2）花が しぼんで じくが たおれる。

（4）白い わた毛が でてくる。

（1）花が さく。

（5）たねを とばす。

（3）たねを 大らせる。

実生の一言 あとのようすに書いてあることばを、よく読んでよく考えましょう。

到達目標 80/100点

標準 実施時間 20分

名前

月 日

44～47 名まえ

ものがたりを　読んで　感じたことを　伝えよう

・物語を読んで感じたことを伝え合う。（図一図）
・大事だと思うところを選び、理由を考える。（図二図）

ノート

① 月 ②

漢字

1 次の（　）に、入る漢字を書きましょう。

（図）

（　ニーサーカセキ　）が、ぐるぐる
漢字は「ニ」「サ」「カ」「セ」「キ」

（　ひとかたまりになって　）、こちらを
漢字は「ひと」「かた」「まり」

（　こっち　）を見る。

2 次の文の（　）に、合う言葉を書きましょう。

（図）

（　ぶたい　）の上で、ぶたいの上に
（　ぶたいの上で　）、ぶたいの上に
（　ぶたいの上に　）、ぶたいの上で

語句

1 次の絵を見て、文に合うものを線でつなぎましょう。

（図）

・ぶたいの上で　・　・ぶたいの上に
・ぶたいの上に　・　・ぶたいの上で

2 次の絵を見て、文に合うものを○で囲みましょう。

（図）

・ぶたいの上で　・　・ぶたいの上に

作文

1 次のようすを見て、文を書きましょう。

（図）

・ぶたいの上で　・　・ぶたいの上に

2 次の絵を見て、文を書きましょう。

（図）

・ぶたいの上で　・　・ぶたいの上に

読む力

1 次の文を読んで、答えましょう。

（図）

やっと　こたえが
でてきた。
ぶたいの上で　ぶたいの上に
ぶたいの上で　ぶたいの上に
ぶたいの上で　ぶたいの上に

スイミー

4 物語を読んで、かんそうを書こう

教科書 50〜62 名前 みや はん

標準実施時間 20分

読むこと 到達目標点 80/100

読んで、ようすを考えよう。

その とき、岩かげに スイミーは見つけた。スイミーのと そっくりの、小さな 魚の きょうだいたちを。

スイミーは 言った。

①「出て こいよ。みんなで あそぼう。おもしろい ものが いっぱいだよ。」

小さな 赤い 魚たちは、こたえた。

②「だめだよ。大きな 魚に たべられて しまうよ。」

「だけど、いつまでも そこに じっと して いる わけには いかないよ。

③なんとか かんがえなくちゃ。」

スイミーは かんがえた。いろいろ かんがえた。うんと かんがえた。

それから、とつぜん スイミーは さけんだ。

「そうだ。みんな いっしょに およぐんだ。海で いちばん 大きな 魚の ふりを して。」

スイミーは 教えた。けっして、はなればなれに ならない こと。

④みんな、もちばを まもる こと。

みんなが、一ぴきの 大きな 魚みたいに およげるように なった とき、スイミーは 言った。

「ぼくが、目に なろう。」

あさの つめたい 水の 中を、ひるの かがやく 光の 中を、みんなは およぎ、大きな 魚を おい出した。

「スイミー」レオ・レオニ／作・谷川俊太郎／訳（光村図書「こくご」二年上より）

基礎の確認 スイミーが出会ったものを読み取ろう。

1 スイミーは、岩かげに なにを 見つけましたか。 完全な一文 「見つけた」のあとに見つけたものが書いてあります。 各10〔20〕

スイミーのと そっくりの、小さな（ 魚 ）の（ きょうだいたち ）。

基礎の確認 語句の意味を読み取ろう。

2 ①「出て こいよ。……」②「だめだよ。……」と いう ことばは、それぞれ だれが 言いましたか。□から えらんで 記号を 書きましょう。 完全な一文 それぞれのようすを思い出しましょう。 各10〔20〕

①（ ウ ） ②（ ア ）

ア 小さな 赤い 魚たち
イ 大きな 魚 ウ スイミー

基礎の確認 スイミーの行動を読み取ろう。

3 ③「スイミーは かんがえた。」と ありますが、どんな ことを かんがえましたか。 完全な一文 スイミーの「そうだ。……」ということばをよく読みましょう。 各10〔20〕

海で（ いちばん大きな魚 ）の ふりを して、（ みんないっしょ ）に およぐ こと。

基礎の確認 スイミーが教えたことを読み取ろう。

4 スイミーが 小さな 赤い 魚たちに 教えた ことを 二つ 書きましょう。 各10〔20〕

（ けっして、はなればなれに ならない こと。 ）
基礎の確認 書き方に注意。

完全な一文 二つめは、大きな魚のふりをするためにしたことです。

（ みんな、もちばを まもる こと。 ）

基礎の確認 スイミーの言葉を読み取ろう。

5 ④「みんなが、一ぴきの 大きな 魚みたいに およげるように なった とき」、スイミーは なんと 言いましたか。 10

（ 「ぼくが、目に なろう。」 ）
基礎の確認 「 」をよく読む。

完全な一文 大きな魚のふりをするためのスイミーのやくわりです。

基礎の確認 みんなの行動を読み取ろう。

6 みんなは、いつも おもって なにを ごう つましたか。 10

（ 大きな魚をおい出した。 ）

完全な一文 大きな魚にたべられないためにみんなはどうしたのでしょう。

こくご

4 お話を 読んで、かんそうを 書こう

スイミー

かん字の ひろば② ／ こんな もの、見つけたよ ほか

50～93

なまえ

くみ　ばん

標準 実施時間 15分

言語	
漢字	40/50
言葉	40/50
到達目標点	80/100

光村教育図書 10

漢字

評価の視点 新出漢字を正しく読めている。

1 新しい かん字・読み ―― 線の 読みかたを 書きましょう。 各5〔20〕

① おかしを 買う。（か）

② おまつりの 会場。（かいじょう）

③ 考えを 出し合う。（あ）

④ 時間を 教える。（おし）

評価の視点 新出漢字を正しく書けている。

2 新しい かん字・書き かん字を 書きましょう。 各5〔20〕

① 元気（げんき）。　② 夏（なつ）休み。

③ 魚（さかな）つり。　④ 名前（なまえ）。

評価の視点 送り仮名のある新出漢字を正しく書けている。

3 新しい かん字・書き かん字と ひらがなで 書きましょう。 各5〔10〕

① こたえが（分かる（わかる））。

② ゆっくり（歩く（あるく））。

言葉

評価の視点 句点やかぎの使い方が分かっている。

4 ことばの きまり つぎの 文に、丸(。)と、かぎ(「 」)を 書きましょう。 完答〔20〕

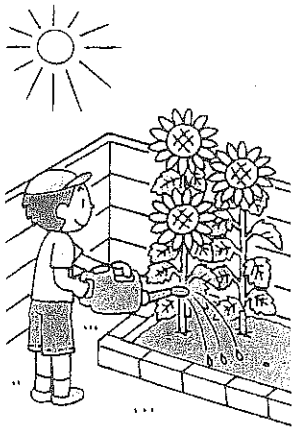
	あ	ゆ	み	さ	ん	が	、	
「	な	わ	と	び	を	し	よ	う
」。								
と	言	い	ま	し	た	。		

評価の視点 たとえの表現が分かっている。

5 ことばの つかいかた つぎの ―― 線の ことばを、なにに たとえて いますか。たとえて いる ものを □ で かこみましょう。 各10〔30〕

〈れい〉 海には、ゼリーのような くらげが たくさん いました。

① 空には わたがしのような くもが たくさん うかんで いました。

② どうぶつえんで、岩みたいな かめが あるいて いるのを 見ました。

③ いえの にわに、たいようみたいな ひまわりが さきました。